

2017年度決算説明資料

証券コード：5332

2018. 4. 27

目次

1. 2017年度決算

2. トピックス

3. 2018年度計画

ハイライト

増収増益。売上高、営業利益、経常利益は過去最高

グローバル住設事業（日本）：増収減益

◆リモデルは増収増益。新築は減収減益

グローバル住設事業（海外）：増収増益

- ◆好調な中国事業が牽引
- ◆アジア、米州も好調に推移

新領域事業：増収増益

◆セラミック事業は引き続き需要が強く、大幅増収増益

2017年度決算

P/L概要

単位：億円

	2016年度	2017年度	前年差 (前年比)	為替影響		計画	計画差 (計画比)
				為替 影響額	為替影響除 前年差(前年比)		
売上高	5,673	5,923	+250 (+4%)	+39	+211 (+4%)	6,000	▲77 (▲1%)
営業利益 [営業利益率]	474 [8.4%]	526 [8.9%]	+52 (+11%)	+7	+45 (+10%)	540 [9.0%]	▲14 (▲3%)
経常利益	481	543	+62 (+13%)	▲0	+62 (+13%)	560	▲17 (▲3%)
親会社株主に 帰属する 当期純利益	329	367	+38 (+12%)	▲3	+41 (+12%)	380	▲13 (▲3%)
ROA	8.7%	9.4%	+0.7pt			9.6%	▲0.2pt
ROE	11.5%	11.7%	+0.2pt			12.4%	▲0.7pt

■為替レート

	2016年度				2017年度			
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q
1ドル	115.4円	108.0円	102.4円	109.4円	113.6円	111.1円	111.0円	113.0円
1元	17.6円	16.5円	15.4円	16.0円	16.6円	16.2円	16.6円	17.1円
1ユーロ	127.2円	121.9円	114.3円	117.9円	121.1円	122.3円	130.4円	133.0円

今年度より海外グループ会社損益の為替換算レートを期末日レートから期中平均レートに変更。当資料の前年度に関する情報は、全て遡及適用後の数値を記載。

2017年度決算

セグメント別業績

単位：億円

<売上高>	2016年度	2017年度	前年差 (前年比)	為替影響額		計画	計画差 (計画比)
				為替影響額	為替影響除 前年差(前年比)		
住設事業 (日本)	4,233	4,256	+23 (+1%)		+23 (+1%)	4,330	▲74 (▲2%)
住設事業 (海外)	1,222	1,379	+157 (+13%)	+34	+123 (+10%)	1,375	+4 (+0%)
新領域	214	284	+70 (+32%)	+5	+65 (+30%)	292	▲8 (▲3%)
その他	2	2	▲0		▲0	3	▲1
合計	5,673	5,923	+250 (+4%)	+39	+211 (+4%)	6,000	▲77 (▲1%)

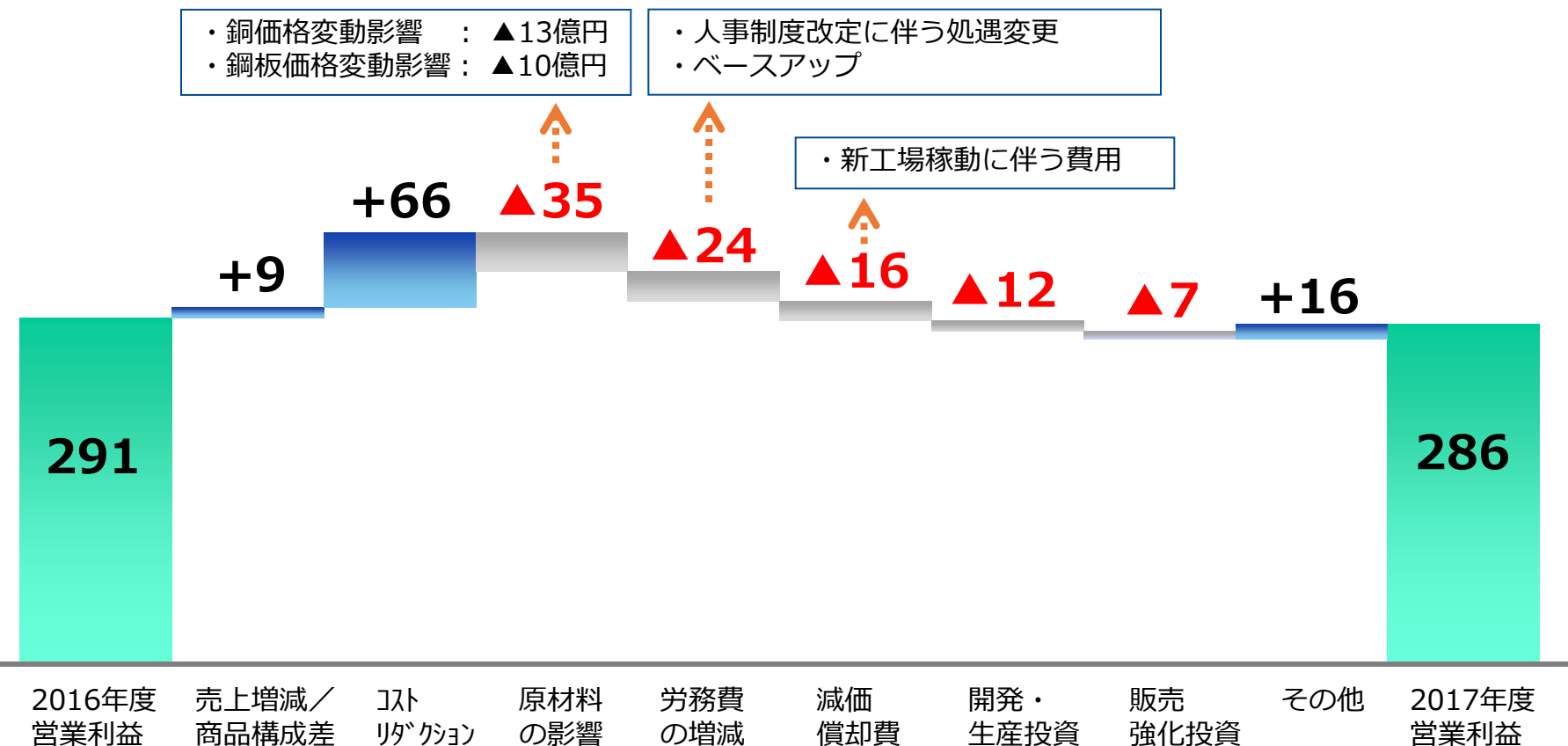
<営業利益>	2016年度	2017年度	前年差 (前年比)	為替影響額		計画	計画差 (計画比)
				為替影響額	為替影響除 前年差(前年比)		
住設事業 (日本)	291	286	▲5 (▲2%)		▲5 (▲2%)	310	▲24 (▲8%)
住設事業 (海外)	222	263	+41 (+19%)	+7	+34 (+16%)	250	+13 (+5%)
新領域	5	13	+8 (+143%)	+1	+7 (+142%)	19	▲6 (▲31%)
その他	▲44	▲37	+7		+7	▲39	+2
合計	474	526	+52 (+11%)	+7	+45 (+10%)	540	▲14 (▲3%)

2017年度決算

グローバル住設事業（日本）

営業利益の増減要因（前年差異▲5億円の内訳）

単位：億円



									計画差計
計画差	▲26	▲2	▲6	▲0	+2	+3	+5	+2	▲24

* 2017年10月30日修正ベース

2017年度決算

グローバル住設事業（日本）

需要別実績

単位：億円

<リモデル>

	2016年度	2017年度	前年差 (前年比)	計画	計画差 (計画比)
売上高	2,835	2,901	+66 (+2%)	2,925	▲24 (▲1%)
営業利益	242	247	+5 (+2%)	260	▲13 (▲5%)
営業利益率	9%	9%	▲0pt	9%	▲0pt

<新築>

	2016年度	2017年度	前年差 (前年比)	計画	計画差 (計画比)
売上高	1,397	1,354	▲43 (▲3%)	1,405	▲51 (▲4%)
営業利益	49	39	▲10 (▲19%)	50	▲11 (▲21%)
営業利益率	4%	3%	▲1pt	4%	▲1pt

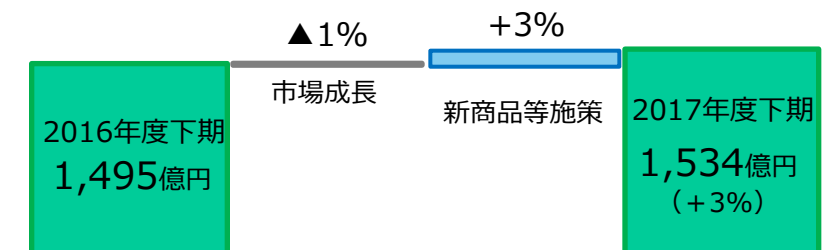
リモデルは増収増益。リモデル・新築ともに計画に届かず

2017年度決算

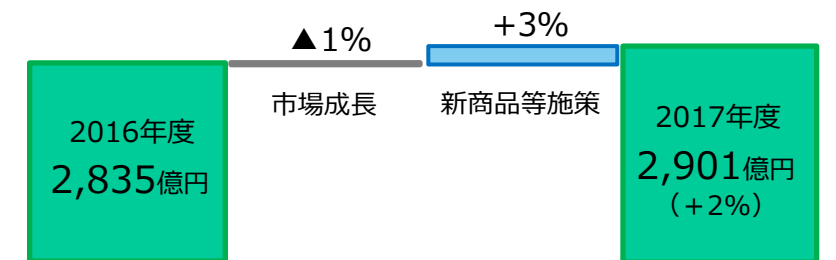
グローバル住設事業（日本）：需要別実績の詳細

リモデル

下期（10～3月）
（前年比）



通期（4～3月）
（前年比）



新築

（前年比）

	上期	下期	通期
住宅向け売上高	▲6%	▲8%	▲7%
（住宅着工）	+1%	▲3%	▲1%
非住宅向け売上高	+4%	+7%	+6%

リモデルは市場が弱含みであったが、新商品効果により前年伸長。
新築は非住宅向け売上高は好調であったが、住宅向け売上高は着工を下回り減収

2017年度決算

グローバル住設事業（日本）

商品別実績

単位：億円

	売上高			営業利益		
	2016年度	2017年度	前年差 (前年比)	2016年度	2017年度	前年差 (前年比)
衛生陶器	863	899	+36 (+4%)	82	88	+6 (+7%)
ウォシュレット	931	951	+20 (+2%)	129	141	+12 (+9%)
水栓機器	932	937	+5 (+0%)	76	66	▲10 (▲12%)
浴室	960	942	▲18 (▲2%)	32	16	▲16 (▲51%)
キッチン・洗面	454	430	▲24 (▲5%)	▲24	▲19	+5 (-)
その他	90	95	+5 (+6%)	▲5	▲5	▲0 (-)
合計	4,233	4,256	+23 (+1%)	291	286	▲5 (▲2%)

新商品が牽引し、衛生陶器・ウォシュレットが伸長
浴室は売上高の減少に加え、原材料の高騰の影響もあり減益

2017年度決算

グローバル住設事業（海外）

単位：億円

売上高	2016年度	2017年度	前年差 (前年比)	為替影響除 前年差 (前年比)	計画	計画差
中国	613	719	+106 (+17%)	+92 (+15%)	715	+4
アジア	286	316	+30 (+10%)	+20 (+7%)	317	▲1
米州	284	307	+23 (+8%)	+14 (+5%)	307	+0
欧州	37	35	▲2 (▲4%)	▲3 (▲9%)	36	▲1
合計	1,222	1,379	+157 (+13%)	+123 (+10%)	1,375	+4
営業利益	2016年度	2017年度	前年差 (前年比)	為替影響除 前年差 (前年比)	計画	計画差
中国	152	181	+29 (+19%)	+25 (+16%)	181	+0
アジア	55	67	+12 (+21%)	+9 (+17%)	62	+5
米州	22	25	+3 (+13%)	+2 (+11%)	20	+5
欧州	▲8	▲10	▲2 (-)	▲1 (-)	▲13	+3
合計	222	263	+41 (+19%)	+34 (+16%)	250	+13

引き続き好調な中国事業が牽引し、海外全体で増収増益

2017年度決算

現地グループ会社の業績（中国）

※連結調整、共通費の配賦等は含まないベース

P / L

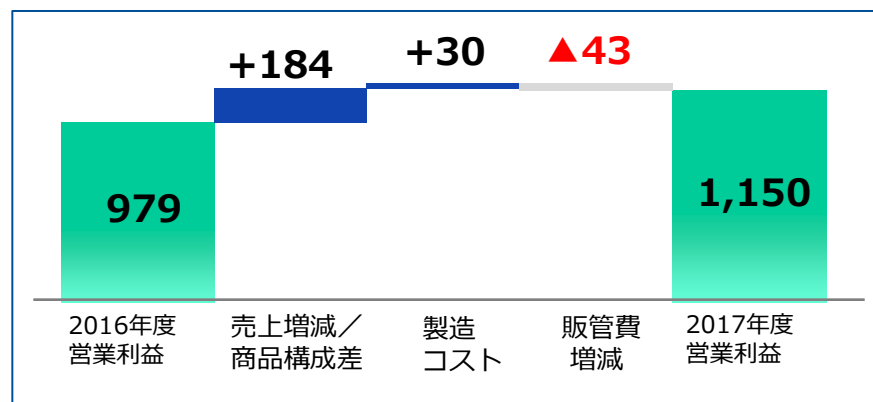
単位：百万元

	2016年度	2017年度	前年差 (前年比)
売上高	3,776	4,308	+532 (+14%)
営業利益	979	1,150	+171 (+18%)
営業利益率	26%	27%	+1pt

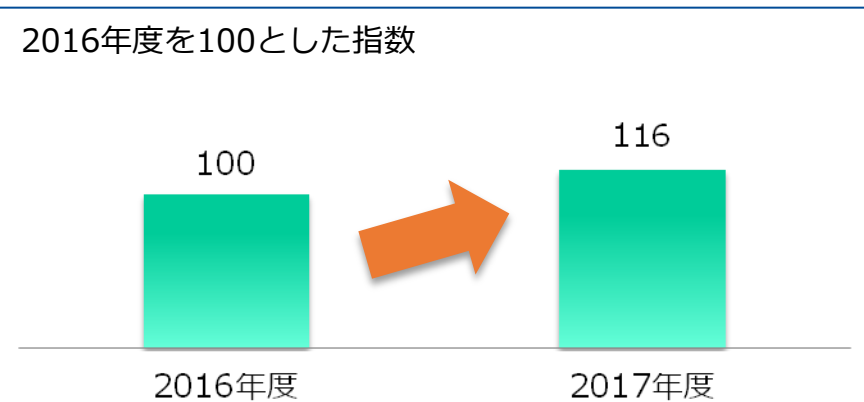
為替レート	2016年4Q	2017年4Q
1元	16.0円	17.1円

営業利益の増減要因

単位：百万元



ウォシュレットの販売台数伸長



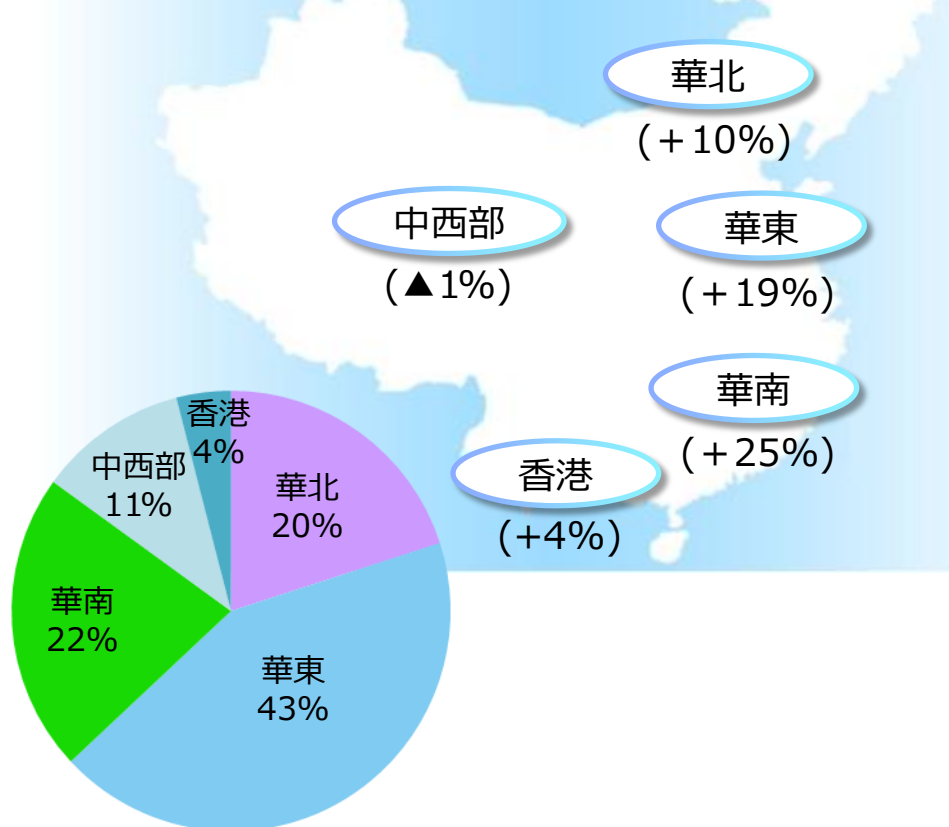
対前年で大幅増収増益。
ウォシュレットの更なる伸長を狙いプロモーションを強化

2017年度決算

現地グループ会社の業績（中国）

■ 地域別の売上高伸長率

中国事業計：+14%(現地通貨ベース)

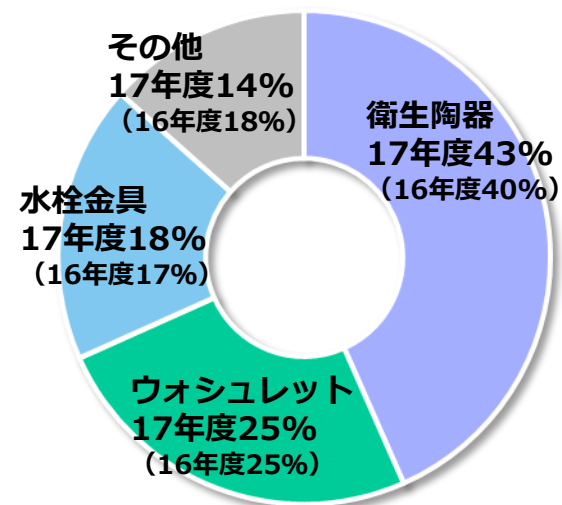


■ 地域別の売上高構成比

■ 商品別の売上高伸長率

	伸長率
衛生陶器	+22%
ウォシュレット	+17%
水栓金具	+19%

■ 売上高に占める商品構成



沿岸部が引き続き大幅伸長。全商品とも好調に推移

2017年度決算

現地グループ会社の業績（アジア・オセアニア）

※連結調整、共通費の配賦等は含まないベース

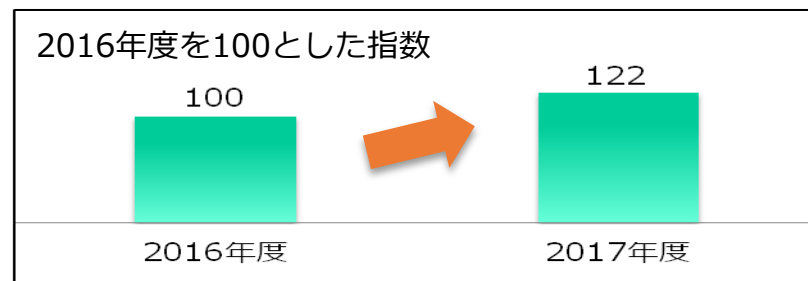
売上高
エリア別内訳

台湾 42%	ベトナム 33%	その他 25%
-----------	-------------	------------

単位：百万台湾ドル

台湾	2016年度	2017年度	前年差 (前年比)
売上高	3,734	3,606	▲128 (▲3%)
営業利益	916	865	▲51 (▲6%)
営業利益率	25%	24%	▲1pt

■ウォシュレット販売台数の伸長



為替レート	2017年度4Q
1台湾ドル	3.75円

単位：10億ドン

ベトナム	2016年度	2017年度	前年差 (前年比)
売上高 [外部顧客売上高]	2,940 [1,818]	3,369 [2,140]	(+15%) (+18%)
営業利益	626	743	+117 (+19%)
営業利益率	21%	22%	+1pt

為替レート	2017年度4Q
1ドン	0.00493円

台湾は、引き続き市況が厳しく、減収減益
ベトナムは、好調を継続。増収増益

2017年度決算

現地グループ会社の業績（米州）

※連結調整、共通費の配賦等は含まないベース

P / L

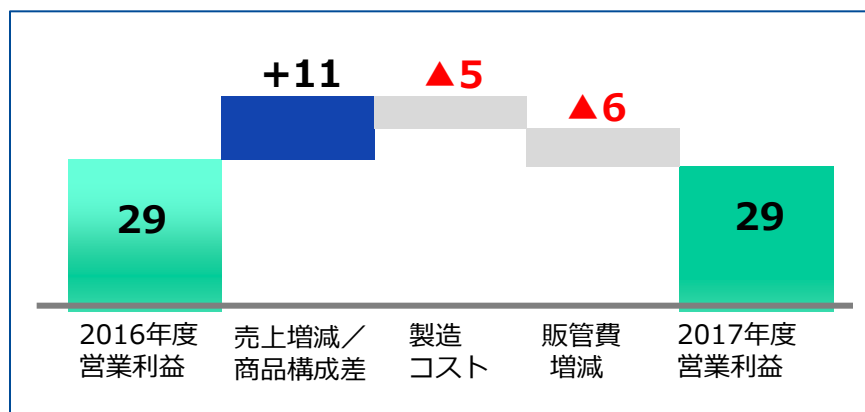
単位：百万ドル

	2016年度	2017年度	前年差 (前年比)
売上高	261	274	+13 (+5%)
営業利益	29	29	▲0 (▲1%)
営業利益率	11%	11%	▲0pt

為替レート	2016年4Q	2017年4Q
1ドル	109.4円	113.0円

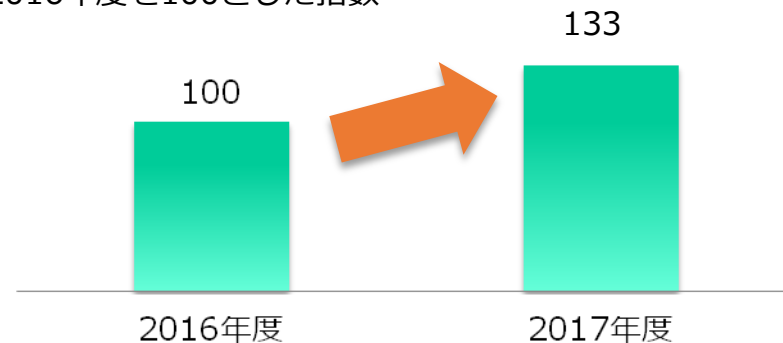
営業利益の増減要因

単位：百万ドル



ウォシュレットの販売台数伸長

2016年度を100とした指数



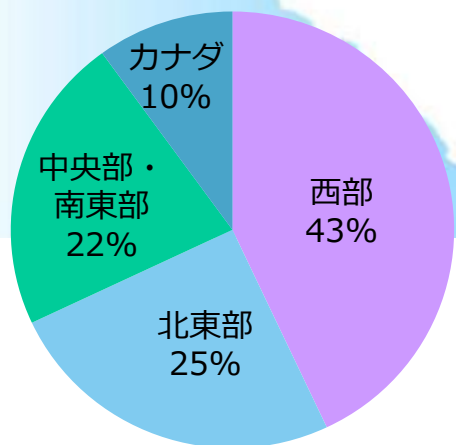
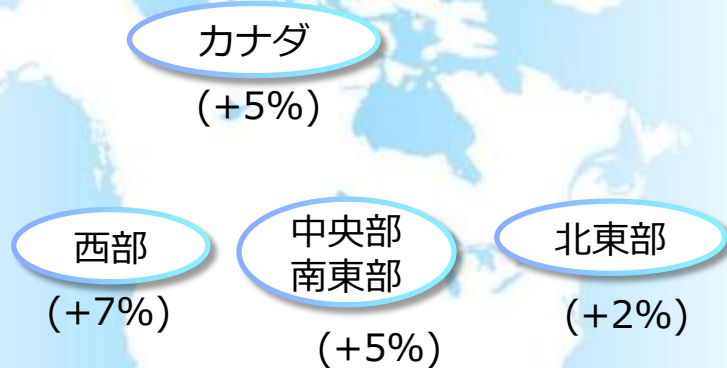
ウォシュレットの伸長により増収、営業利益横ばい

2017年度決算

現地グループ会社の業績（米州）

■ 地域別の売上高伸長率

米州事業計：+5%(現地通貨ベース)



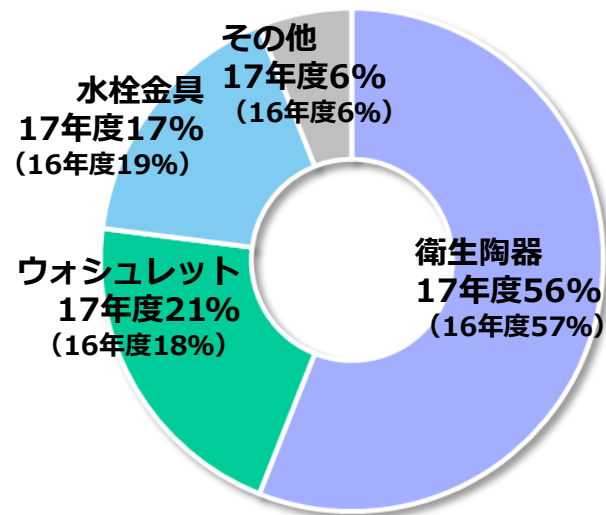
■ 地域別の売上高構成比

■ 商品別の売上高伸長率

	伸長率
衛生陶器	+4%
ウォシュレット	+22%
水栓金具	▲4%

* 水栓：節水規制対応が遅れていたが、10月に対策品を発売。

■ 売上高に占める商品構成



全地域で伸長。ウォシュレットが大きく伸長

2017年度決算

現地グループ会社の業績（欧州）

※連結調整、共通費の配賦等は含まないベース

P / L

単位：百万ユーロ

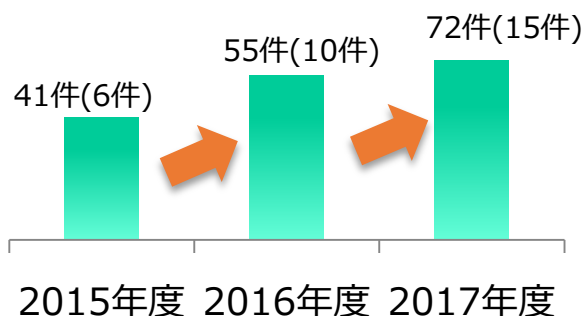
	2016年度	2017年度	前年差 (前年比)
売上高	28	26	▲2 (▲7%)
営業利益	▲4	▲6	▲2 (－)

為替レート	2016年度4Q	2017年度4Q
1ユーロ	117.9円	133.0円

■高級ホテルにおける ウォシュレット採用件数

* 過去からの累計件数

* カッコ内は全室ウォシュレット設置件数



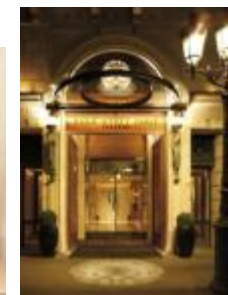
■納入現場事例

PALACE HOTEL（パラスホテル）

仏観光担当大臣が正式認定する、選び抜かれた最高級ホテルに与えられる称号。パリでは10か所が認定されている。全ホテルでTOTO商品採用。うち、9ホテルにネオレスト・ウォシュレット採用。

Park Hyatt Paris-Vendôme Hotel（フランス） (2011年認定)

ヴァンドーム広場の近くに位置する5つ星ホテル。ネオレストが採用。



減収減益。引き続き流通構築と著名物件採用を推進

2017年度決算

新領域事業

セラミック事業

単位：億円

	2016年度	2017年度	前年差 (前年比)	為替影響額		計画	計画差 (計画比)
				為替影響額	為替影響除 前年差(前年比)		
売上高	125	200	+75 (+60%)	+5	+70 (+57%)	202	▲2 (▲1%)
営業利益	12	17	+5 (+42%)	+0	+5 (+41%)	23	▲6 (▲23%)
営業利益率	10%	9%	▲1pt			11%	▲2pt

環境建材事業

単位：億円

	2016年度	2017年度	前年差 (前年比)	為替影響額		計画	計画差 (計画比)
				為替影響額	為替影響除 前年差(前年比)		
売上高	89	84	▲5 (▲7%)		▲5 (▲7%)	90	▲6 (▲7%)
営業利益	▲6	▲4	+2 (-)		+2 (-)	▲4	▲0 (-)

セラミック事業が牽引し、大幅増収増益

目次

1. 2017年度決算

2. トピックス

3. 2018年度計画

リモデルあんしん宣言



TOTOはお客様に、新しい生活スタイルの提案を行ってきました。
その思想はそのままに、TOTOは“リモデル”をさらに進化させます。
お客様が安心してリフォームに踏み出せるようにお手伝いしたい、そんな想いを込めて。

リモデル宣言から25年 リモデル新宣言から15年
TOTOはリモデルの新たな宣言を発信しました

トピックス

全体像

リモデルサポートデスク

リモデルの疑問・不安への対応が
「みえる&わかる」

住宅リモデルに関する相談窓口

4月2日稼働
365日受付

リモデルライブラリー

リモデルの事例や価格の目安が
「みえる&わかる」

価格情報も含めた事例集

【2022年度】
事例数 10,000件

リモデルプロショップ[®]

あんしんのお店が
「みえる&わかる」

リモデルクラブ店

【2022年度】
全店あんしん 5,000店

ショールーム

リモデル後の暮らしが
「みえる&わかる」

魅力あるショールーム

リモデル提案力
NO.1へ

“みえる・わかる” 情報で、お客様の疑問や不安にお応えします

トピックス

WASHLETグローバル戦略

TOTOのグローバル成長戦略の
最重要商品であるウォシュレット

ウォシュレット
累計出荷台数
4,000万台 突破！



ウォシュレットをグローバルに普及させるために、
TOTO WASHLETブランド確立

訪日外国人向けに、日本の入口・出口となる
空港（国際線）にて、大々的なプロモーションを実施



海外と日本の戦略を
連動させ、帰国後の
購買につなげる

訪日外国人向けに「温水洗浄便座 = TOTO WASHLET」を
徹底的に訴求し、帰国後の購買につなげていく

トピックス

世界的なデザイン賞受賞

- NEOREST NX : iFデザイン賞・レッドドットデザイン賞
ドイツで開催されている国際的なデザイン賞をダブル受賞。



NEOREST NX



reddot award 2018
winner

- 水栓金具 : iFデザイン賞・レッドドットデザイン賞



ZL series lavatory faucets



GS series lavatory faucets



GA series lavatory faucets



reddot award 2018
winner

グローバル統一モデルの世界的評価は確実に高まっている

トピックス

社外からの評価

6月

光電センサー内蔵自動水栓
平成29年度「建築設備技術遺産」
に認定



パブリックトイレに
求められる節水・衛生性（
非接触）を実現
その後の技術進歩の原点に

6月

自動洗浄小便器の意匠が
「全国発明表彰 発明賞」を受賞



使いやすさ・清掃性を
兼ね備えた新しいデザイン
が受賞の決め手に

7月

社会的責任投資指数
「FTSE4Good Index Series」
の構成銘柄に2年連続で選定



FTSE4Good

ESG（環境・社会・
ガバナンス）に配慮した
経営・情報開示が
評価された

10月

「Dow Jones Sustainability
Indices (DJSI) Asia Pacific」
の構成銘柄に9年連続で選定

MEMBER OF
Dow Jones
Sustainability Indices
In Collaboration with RobecoSAM

ESGの側面から
企業の持続可能性
が評価された

ものづくり、CSRの取り組みが評価され、国内外から評価された

新生産拠点

■ベトナム 第3工場稼動（衛生陶器）



■工場概要

社名	TOTO VIETNAM CO., LTD.
投資金額	約97億円
生産品目	衛生陶器
生産能力	約60万ピース/年

■タイ 第3工場着工（ウォシュレット）



■工場概要

社名	TOTO (THAILAND) CO., LTD.
投資金額	約37億円
工場概要	敷地面積 : 約49,000㎡ 建屋 : 約18,000㎡ (延床面積)
生産能力	約45万台/年

海外販売の拡大を見据え、供給体制を增強

TDYリモデルコレクション2018 ~十人十家 (ジュウニトイエ)

「グリーンリモデルフェア」改め 「TDYリモデルコレクション2018」開催

5月17日 (木) ~19日 (土) 幕張メッセにて

コンセプトは「十人十家 (ジュウニトイエ)」

- ・「こんな暮らしがしたい空間」をTDY商材で具現化
- ・フェア当日は空間提案10プランを一挙展示



くらしの想いをわたしらしく
十人十家

TDY リモデルコレクション 2018
2018.5.18(木)~5.19(土) 幕張メッセ 1~3ホール

※開催時間：18時(木)~19時(土)17時(土)19時(土)~19時(土)※
※開催会場：コイズミ(1階)、(1階)コトコト、(1階)サンデア、6F(1階)、ダイキン工業(1階)、
出立ポイント工業(1階)、東武東上線(1階)、トリーアール(1階)※
(1階)アトリ、マテリアルホール(1階) ※会場案内

フェア名称を一新し、3年ぶりの大規模フェア開催。
TDY連携の上、お客様へ期待以上のリモデル提案を実施。

目次

1. 2017年度決算

2. トピックス

3. 2018年度計画

増収増益を計画。 昨年度に引き続き、過去最高を目指す

グローバル住設事業（日本）：増収減益

- ◆リモデル、新築ともに増収を見込むが、積極投資を行うため減益計画

グローバル住設事業（海外）：増収増益

- ◆中国は増収増益を計画、アジア、米州は増収も積極投資等により減益計画
- ◆ウォシュレットの販売拡大を継続

新領域事業：増収増益

- ◆セラミック事業の成長で、大幅増収増益計画

2018年度計画

P/L概要

単位：億円

	2017年度	2018年度計画			前年差 (前年比)	為替 影響額	為替影響除 前年差(前年比)
		上期	下期	通期			
売上高	5,923	2,930	3,270	6,200	+277 (+5%)	+2	+275 (+5%)
営業利益 [営業利益率]	526 [8.9%]	207 [7.1%]	333 [10.2%]	540 [8.7%]	+14 (+3%)	+2	+12 (+2%)
経常利益	543	216	344	560	+17 (+3%)	+6	+11 (+2%)
親会社株主に 帰属する 当期純利益	367	136	244	380	+13 (+3%)	+5	+8 (+2%)
ROA	9.4%	9.3%					
ROE	11.7%	11.0%					

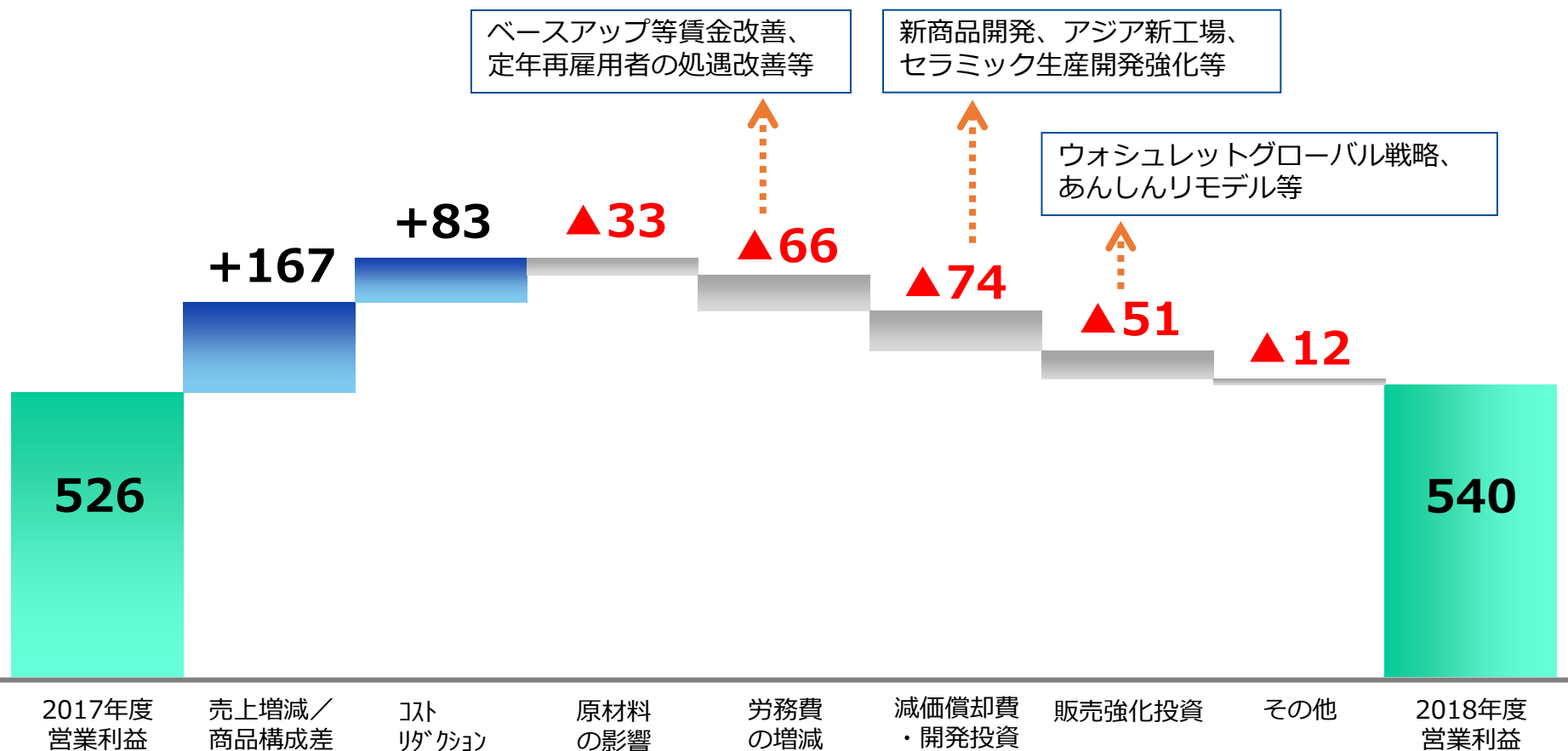
■為替レート

	2017年度				2018年度
	1Q	2Q	3Q	4Q	計画
1ドル	113.6円	111.1円	111.0円	113.0円	106.0円
1元	16.6円	16.2円	16.6円	17.1円	17.0円
1ユーロ	121.1円	122.3円	130.4円	133.0円	133.0円

全社

単位：億円

営業利益の増減要因（前年差異+14億円の内訳）



売上増加やコストリダクションがある一方で、将来を見据えた積極投資等を実施し、営業利益は+14億円の計画

2018年度計画

セグメント別業績

単位：億円

<売上高>	2017年度	2018年度計画			前年差 (前年比)	為替影響額	為替影響除 前年差(前年比)
		上期	下期	通期			
住設事業 (日本)	4,256	2,060	2,276	4,336	+80 (+2%)		+80 (+2%)
住設事業 (海外)	1,379	703	802	1,505	+126 (+9%)	+7	+119 (+9%)
新領域	284	166	191	357	+73 (+26%)	▲5	+78 (+27%)
その他	2	1	1	2	▲0		▲0
合計	5,923	2,930	3,270	6,200	+277 (+5%)	+2	+275 (+5%)

<営業利益>	2017年度	2018年度計画			前年差 (前年比)	為替影響額	為替影響除 前年差(前年比)
		上期	下期	通期			
住設事業 (日本)	286	94	178	272	▲14 (▲5%)		▲14 (▲5%)
住設事業 (海外)	263	120	148	268	+5 (+2%)	+3	+2 (+1%)
新領域	13	9	26	35	+22 (約2.7倍)	▲0	+22 (約2.2倍)
その他	▲37	▲16	▲19	▲35	+2		+2
合計	526	207	333	540	+14 (+3%)	+2	+12 (+2%)

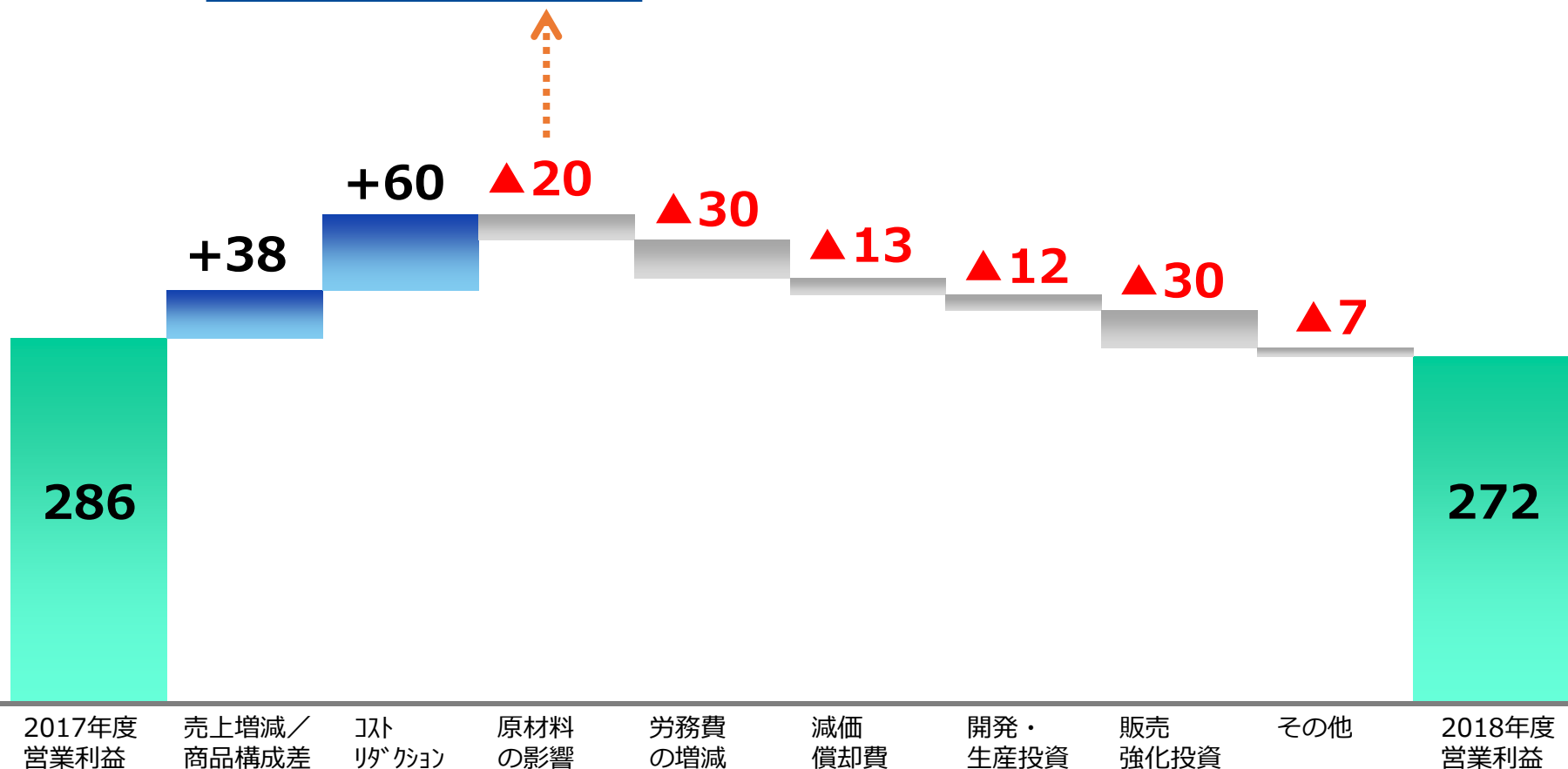
2018年度計画

グローバル住設事業（日本）

営業利益の増減要因（前年差異▲14億円の内訳）

単位：億円

- ・銅価格変動影響：▲4億円
- ・鋼板価格変動影響：▲9億円



2018年度計画

グローバル住設事業（日本）

需要別実績

単位：億円

<リモデル>

	2017年度	2018年度 計画	前年差 (前年比)
売上高	2,901	2,968	+67 (+2%)
営業利益	247	235	▲12 (▲5%)
営業利益率	9%	8%	▲1pt

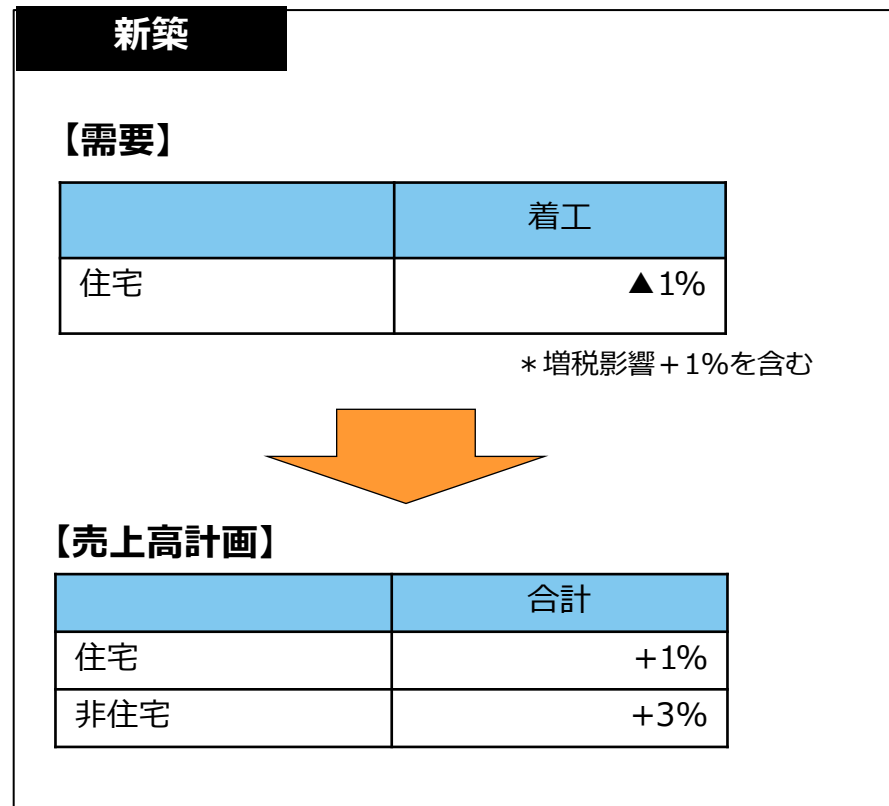
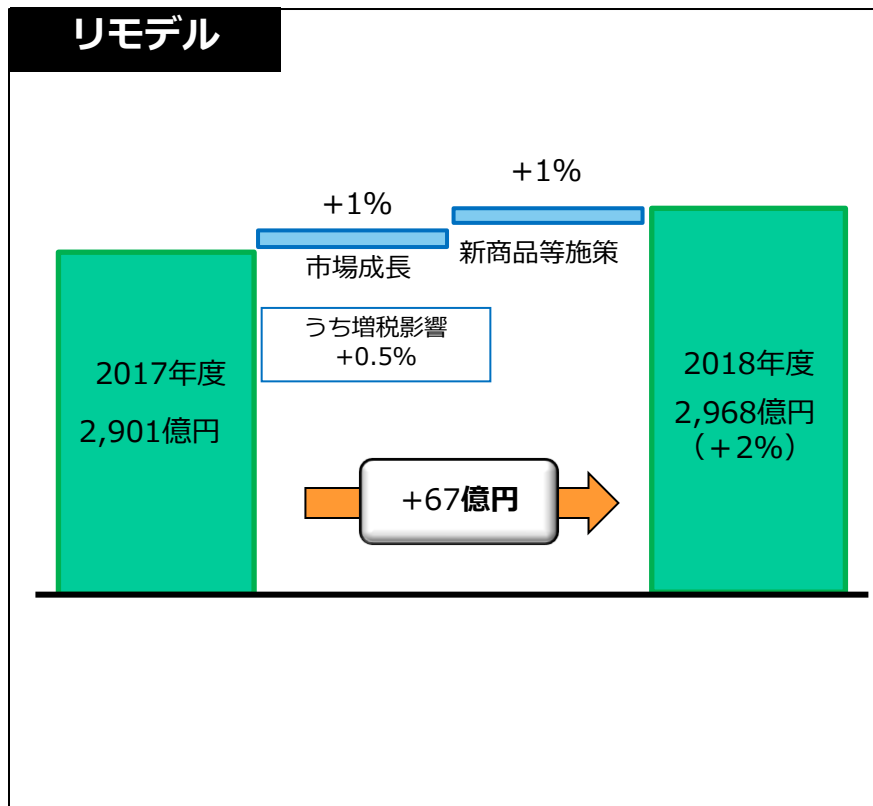
<新築>

	2017年度	2018年度 計画	前年差 (前年比)
売上高	1,354	1,367	+13 (+1%)
営業利益	39	36	▲3 (▲9%)
営業利益率	3%	3%	▲0pt

リモデル、新築ともに増収減益

2018年度計画

グローバル住設事業（日本）：リモデル・新築の計画について



リモデルは、市場成長・新商品等施策効果ともに前年伸長の計画。
新築は、住宅着工を上回り、前年伸長を計画。
なお、消費増税に伴う駆け込み影響は18年度下期に+1%、
19年度上期に+3%織り込み予定

2018年度計画

グローバル住設事業（日本）

商品別実績

単位：億円

	売上高			営業利益		
	2017年度	2018年度 計画	前年差 (前年比)	2017年度	2018年度 計画	前年差 (前年比)
衛生陶器	899	917	+18 (+2%)	88	85	▲3 (▲4%)
ウォシュレット	951	968	+17 (+2%)	141	130	▲11 (▲8%)
水栓機器	937	959	+22 (+2%)	66	65	▲1 (▲3%)
浴室	942	963	+21 (+2%)	16	9	▲7 (▲44%)
キッチン・洗面	430	441	+11 (+2%)	▲19	▲13	+6 (-)
その他	95	88	▲7 (▲8%)	▲5	▲4	+1 (-)
合計	4,256	4,336	+80 (+2%)	286	272	▲14 (▲5%)

全商品で売上伸長を目指すものの、積極投資により減益の計画

グローバル住設事業（海外）

単位：億円

売上高	2017年度	2018年度計画	前年差 (前年比)	為替影響除 前年差 (前年比)
中国	719	800	+81 (+11%)	+63 (+9%)
アジア	316	343	+27 (+8%)	+30 (+10%)
米州	307	319	+12 (+4%)	+17 (+6%)
欧州	35	43	+8 (+20%)	+6 (+17%)
合計	1,379	1,505	+126 (+9%)	+119 (+9%)
営業利益	2017年度	2018年度計画	前年差 (前年比)	為替影響除 前年差 (前年比)
中国	181	195	+14 (+7%)	+9 (+5%)
アジア	67	62	▲5 (▲9%)	▲4 (▲7%)
米州	25	23	▲2 (▲9%)	▲1 (▲6%)
欧州	▲10	▲12	▲2 (-)	▲1 (-)
合計	263	268	+5 (+2%)	+2 (1%)

中国は増収増益、他エリアは増収も積極投資等により減益計画

2018年度計画

現地グループ会社の業績（中国）

※連結調整、共通費の配賦等は含まないベース

P / L

単位：百万円

	2017年度	2018年度	前年差 (前年比)
売上高	4,308	4,700	+392 (+9%)
営業利益	1,150	1,225	+75 (+6%)
営業利益率	27%	26%	▲1pt

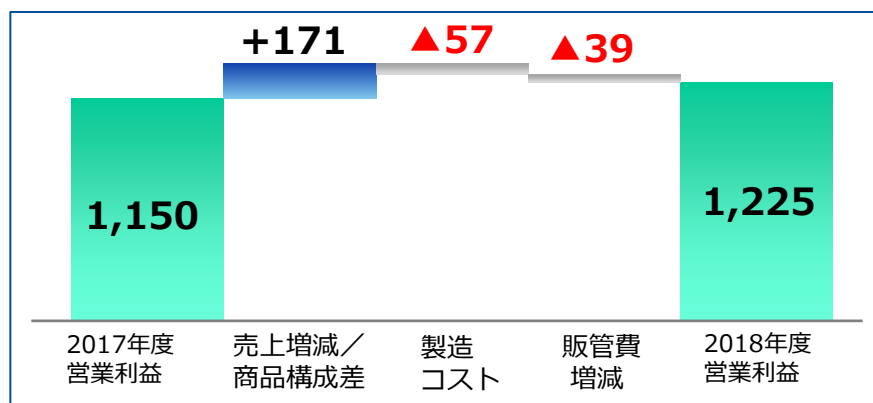
為替レート	2018年度
1円	17.0円

第1四半期(1月～3月)の売上高伸長率は前年同期比+4%。

ウォシュレット販売台数対前年微増

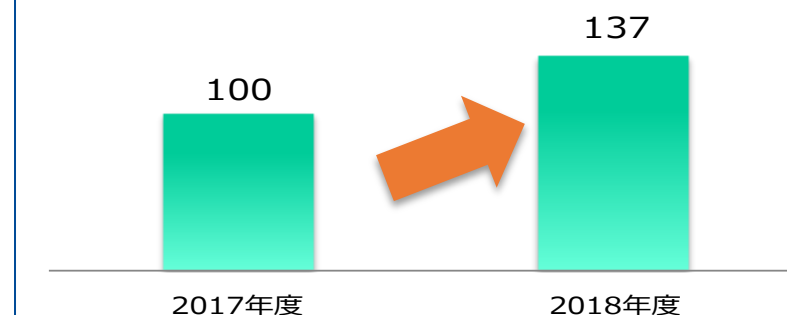
営業利益の増減要因

単位：百万円



ウォシュレットの販売台数伸長

2017年度を100とした指数



増収増益を計画。継続的な成長を目指す

2018年度計画

現地グループ会社の業績（アジア・オセアニア）

※連結調整、共通費の配賦等は含まないベース

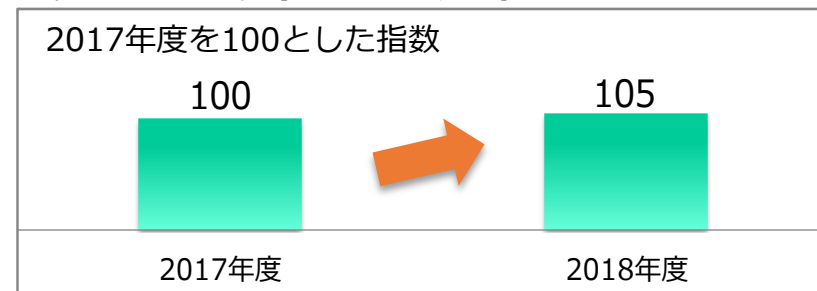
台湾

単位：百万台湾ドル

	2017年度	2018年度	前年差 (前年比)
売上高	3,606	3,566	▲40 (▲1%)
営業利益	865	795	▲70 (▲9%)
営業利益率	24%	22%	▲2pt

第1四半期(1月～3月)の売上高伸長率は前年同期比▲13%
18年度足元着工：1月+35%、2月▲5%

■ウォシュレット販売台数の伸長



為替レート	2018年度
1台湾ドル	3.65円

ベトナム

単位：10億ドン

	2017年度	2018年度	前年差 (前年比)
売上高 (外部顧客売上高)	3,369 [2,140]	4,236 [2,538]	(+26%) (+20%)
営業利益	743	743	▲0 (▲0%)
営業利益率	22%	18%	▲4pt

為替レート	2018年度
1ドン	0.00485円

第1四半期(1月～3月)の外部顧客売上高伸長率は前年同期比+2%

台湾：住宅市場は下げ止まりが見られるものの、減収減益の計画。
ベトナム：旺盛な需要を背景に、引き続き大幅な成長を目指す

2018年度計画

現地グループ会社の業績（米州）

※連結調整、共通費の配賦等は含まないベース

P / L

単位：百万ドル

	2017年度	2018年度	前年差 (前年比)
売上高	274	300	+26 (+10%)
営業利益	29	34	+5 (+16%)
営業利益率	11%	11%	+0pt

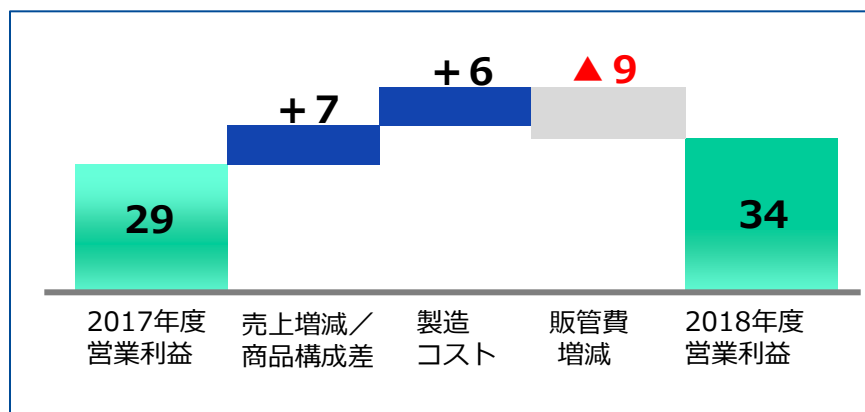
為替レート	2018年度
1ドル	106.0円

第1四半期(1月～3月)の売上高伸長率は前年同期比+2%

ウォシュレット販売台数+15%

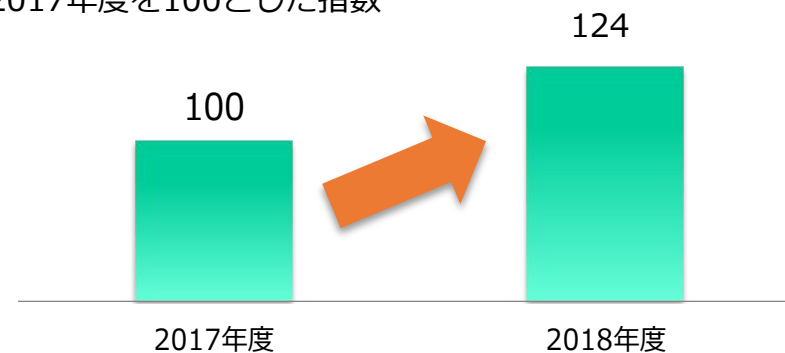
営業利益の増減要因

単位：百万ドル



ウォシュレットの販売台数伸長

2017年度を100とした指数



ウォシュレットの大幅伸長を軸に、増収増益を計画

2018年度計画

現地グループ会社の業績（欧州）

※連結調整、共通費の配賦等は含まないベース

P / L

単位：百万ユーロ

	2017年度	2018年度 計画	前年差 (前年比)
売上高	26	30	+4 (+12%)
営業利益	▲6	▲6	▲0 (－)

第1四半期(1月～3月)の売上高伸長率は前年同期比▲1%

為替レート	2018年度
1ユーロ	133.0円

■高級ホテルにおけるウォシュレット採用見込

累計 : 88件 (23件) * カッコ内は全室ウォシュレット設置件数
対前年 : +16件 (+8件)

増収、営業利益横ばいの計画

新領域事業

セラミック事業

単位：億円

	2017年度	2018年度 計画	前年差 (前年比)	為替影響額	為替影響除 前年差(前年比)
売上高	200	267	+67 (+33%)	▲5	+72 (+36%)
営業利益	17	33	+16 (+94%)	▲0	+16 (+91%)
営業利益率	9%	12%	+3pt		

環境建材事業

単位：億円

	2017年度	2018年度 計画	前年差 (前年比)	為替影響額	為替影響除 前年差(前年比)
売上高	84	90	+6 (+7%)		+6 (+7%)
営業利益	▲4	2	+6 (-)		+6 (-)

旺盛な半導体需要を背景に、セラミック事業の大幅伸長を計画

2018年度計画

設備投資・減価償却費・研究開発費の推移

	2016年度	2017年度	2018年度計画
設備投資額	267億円	381億円	585億円
減価償却費	192億円	213億円	249億円
研究開発費	194億円	205億円	233億円

■ 2018年度 設備投資内訳

住設事業（日本）	・新商品開発 ・生産設備関連 等	約300億円
住設事業（海外）	・新工場関連 ・生産設備関連 等	約180億円
新領域	・セラミック増設 等	約100億円

2018年度計画

配当計画

今年度より配当性向を引き上げ、40%を目処に計画

	2016年度	2017年度	2018年度
中間	34.0円	36.0円	45.0円
期末	34.0円	36.0円	45.0円
年間計	68.0円	72.0円	90.0円
配当性向	34.9%	33.1%	40.1%

年間配当：対前年18円の増配を計画

このプレゼンテーション資料は、2018年4月27日現在の将来に関する前提・見通し・計画に基づく予測が含まれています。世界経済・競合状況・為替の変動等にかかわるリスクや不確定要因により実際の業績が記載の予測と大幅に異なる可能性があります。

あしたを、ちがう「まいにち」に。

TOTO